

山口県感染症発生週報

(第5週:平成28年2月1日～2月7日)

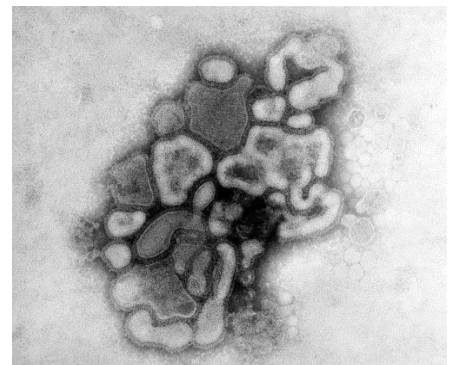
1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 2例(下関2)。

【5類感染症】

・急性脳炎: 2例(周南1、宇部1)いずれもインフルエンザA型。



インフルエンザウイルス
CDC/ Dr. E. Palmer; R. E. Bates

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・**インフルエンザ**: 多くの地域で増加しており、本日(2/10)警報を発令しました。迅速診断検査結果は、A型1532例、B型909例、A型B型ともに陽性2例で、208例は臨床診断・型不明でした。下関、柳井、周南、宇部、長門ではA型が多く、岩国、山口、萩ではB型が多く、防府では同程度でした。流行シーズン入りした第2週以降の病原体検査では、A/H1pdm09が最も多く、次いでB型(山形系統)が多く検出され、B型(ビクトリア系統)も少数ですが検出されています。[警報レベル:柳井(2週目)、周南(2週目)、岩国(1週目)、下関(1週目)。注意報レベル:長門(1週目)、防府(2週目)、宇部(3週目)、山口(3週目)、萩(1週目)]※

・**伝染性紅斑**: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル:萩(14週目)]※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	3週	4週	5週	疾患名	3週	4週	5週
インフルエンザ	831	1617	2651	百日咳	0	2	1
RSウイルス感染症	77	81	35	ヘルパンギーナ	1	0	1
咽頭結膜熱	16	25	14	流行性耳下腺炎	23	38	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	149	171	214	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	419	370	340	流行性角結膜炎	9	10	5
水痘	14	13	10	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	3	12	4	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	58	57	40	マイコプラズマ肺炎	4	4	2
突発性発しん	24	19	21	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	3	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	528	411	418	611	132	160	270	86	35	2651
RSウイルス感染症	11	1	1	12	1	0	4	0	5	35
咽頭結膜熱	2	1	0	6	2	1	0	0	2	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	7	9	21	4	131	12	2	3	214
感染性胃腸炎	59	18	0	141	20	27	37	11	27	340
水痘	1	0	0	6	1	0	2	0	0	10
手足口病	1	0	0	0	2	0	1	0	0	4
伝染性紅斑	8	5	1	0	4	4	8	2	8	40
突発性発しん	2	0	0	9	2	3	3	0	2	21
百日咳	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ヘルパンギーナ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎	11	7	0	5	0	0	0	0	1	24
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	1	3	0	0	0	0	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1